

# 美しい海 瀬戸内海と 目に見えない環境問題

海ごみ問題

想像しよう、海の底を  
創造しよう、美しい瀬戸内の未来を



## その1 海ごみって何だ？

海ごみとは、海にあるゴミのことで漁業操業や海上交通に大きな影響を及ぼします。

海ごみは大きく3種類に分類され、その中でも海底ごみは普段ほとんど目にしないため、「目に見えない環境問題」と言われています。

丸亀市漁協がある丸亀市には、香川県唯一の一級河川である土器川があります。流域には丸亀市の他に、まんのう町を有しており、流域人口は約35,000人と多くの人々が暮らしています。多くの心無い人たちによって水路や、ため池などに捨てられたごみは、この土器川を通じて最終的に海へと流れてきています。その他にも、海岸で捨てられたごみや、船舶から捨てられたごみなどが、最終的に海へとやってくる。また、今年は台風が多かったため、多くの流木や葦等の自然ごみが土器川から海へと流れ着いています。

陸で捨てられたごみは…



川の水とともに流され…



やがて海へとやってくる

海岸漂着ごみ



海岸に漂着したごみ

海面漂流ごみ



海面に漂流するごみ

資料提供：四国地方整備局高松港湾・空港整備事務所

海底堆積ごみ



海底に堆積するごみ

資料提供：公益財団法人水島地域環境再生財団

その他には

- ・ 台風による木や葦の漂着
- ・ 船舶からの不法投棄 等

海には、無責任に捨てられた多くのごみが流れてきています。



# 海ごみ問題

## その2 海ごみの影響

無責任に捨てられた多くのごみは、海へとやって来て様々な問題を引き起こします。



漁業操業に支障を来す  
(底びき網漁業)



漁業操業に支障を来す  
(たこつぼ縄漁業)



景観を悪くする



漁師が怪我をする



とった魚が傷つく



その他には

- ・海上交通の支障になる
- ・海の生物に影響を与える
- ・いつまでも分解されない(プラスチックなど)

## その3 海ごみの問題点

海ごみは最終的に海岸に漂着し景色を悪くしたり、海面を漂って海上交通の邪魔になったり、海底に堆積して漁場環境を悪化させます。この海底に溜まったごみは、底曳き網漁業中に網に入って、操業の邪魔になったり、網を破く原因にもなります。

また、この海ゴミは分別に手間がかかり、さらに泥などで汚れているため一般の廃棄物として地元自治体が引き取ってはくれません。せつかく網にかかっても処理に多くのお金がかかるため、そのまま海に戻すという悪循環が生まれています。



リサイクルできない



分別に手間がかかる



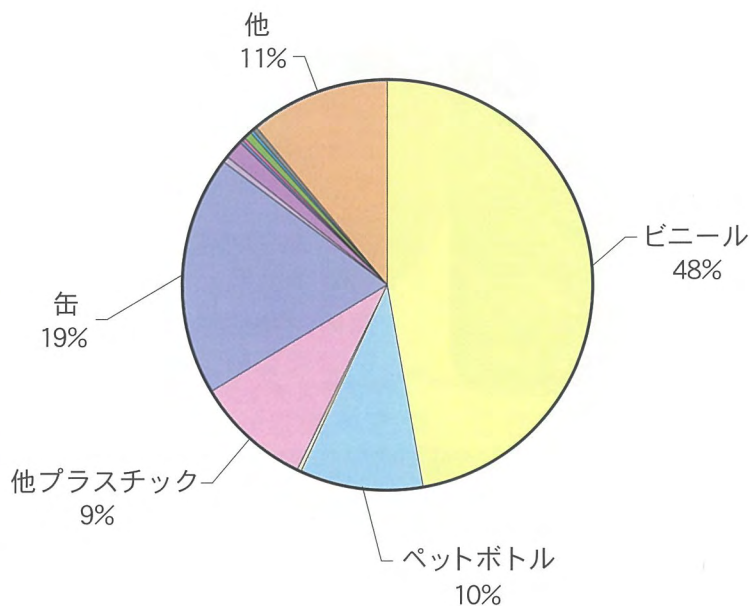
処理にお金がかかる

# 備讃瀬戸西部海域における 海底ごみの実態

平成23年10月21日から平成24年2月6日までの間に、丸亀市漁協所属の底曳網漁業者13名に操業中に入網したごみを持ち帰ってもらいました。持ち帰ってもらった海底ごみを調査した結果、総回収量が45Lゴミ袋で435袋分、体積で約17m<sup>3</sup>の海底ごみを回収しました。これらのうち、58袋を抽出し、袋の中身の調査を行った結果、1933個のごみがあり、重さ約106キロになりました。全体では、14,498個、重さ約795キロになりました。

備讃瀬戸西部海域では、ビニールだけで全体の約半分を占めていました。また、ペットボトル、プラスチック、缶等を含めると全体の約8割を占めていました。

今回、回収されたごみは、普段の生活でよく目にするものがほとんどであり、陸上の生活由来のごみが、土器川を通じて流れてきたり、海岸等や航路筋で捨てられたゴミが、巡りめぐって海そして漁師さんの元へとやってきていることがわかります。



ごみの種類	個数
ビニール	913
ペットボトル	186
発砲スチロール	6
他プラスチック	177
缶	369
その他金属類	6
ビン	29
その他ガラス	2
陶磁器	1
ゴム	6
紙・雑誌	12
布類	8
加工木材	0
漁網・ロープ	3
その他	215
合計	1933

この冊子を通して、普段見ることのできない瀬戸内海の海の底に、自分たちが出した多くのごみが堆積しており、それによって海で暮らす生き物、漁師さんたちが困っているということを知ることができたと思います。

そこで、海の底がどうなっているか、今一度想像してください、そしてそれを改善し、美しい瀬戸内海を未来へつないでいくために自分たちが何をしなければいけないか、ひとりひとりが想像し、行動してください。そうすれば、美しい瀬戸の風景を未来へ繋いでいけると私たちは思っています。

当冊子は、平成23年 海岸漂着物等の発生抑制に係る海底ごみ対策事業（備讃瀬戸西部海域）によって作成しました。